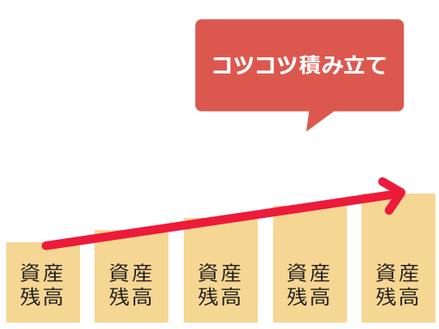
イオン銀行 iDeCo　運用商品選びのポイント

<ご説明にあたってのご留意事項>
・本資料による運用方法の情報提供は、iDeCo運営管理機関として行います。
・特定の運用方法の推奨は、法令上、禁止されております。

iDeCoの運用商品には「元本確保型」と「元本確保型以外」の２種類があります

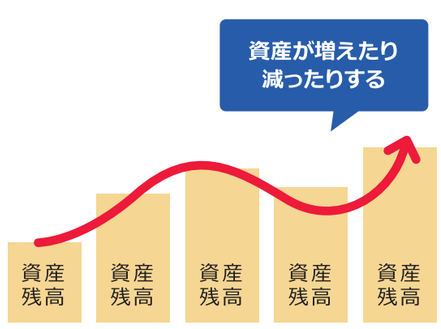
元本確保型（定期預金など）



○ 原則元本確保

△ 低金利だと資産は大きく増えない

元本確保型以外（投資信託など）

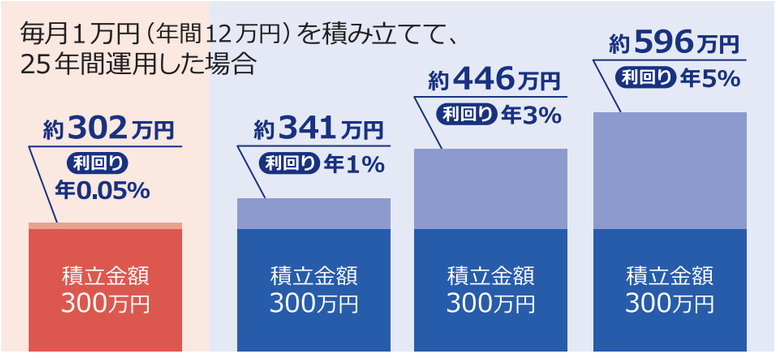


○ 価格の変動はあるが資産を増やせる可能性がある

△ 積み立てた資産が減る場合もある

■利回りごとの運用資産額シミュレーション

毎月１万円（年間12万円）を積み立てて、25年間運用した場合

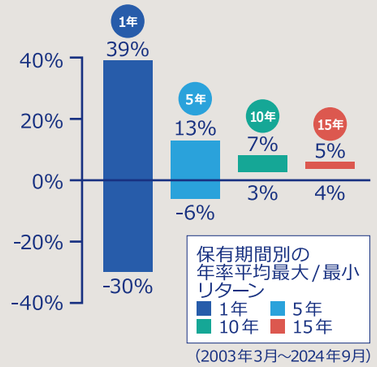


リスク（価格のブレ幅）を抑えて運用したい場合は、「長期投資（じっくり）・積立投資（コツコツ）・分散投資（資産を分けて）」が重要です

①長期投資

長期投資することで比較的安定したリターンが期待できます

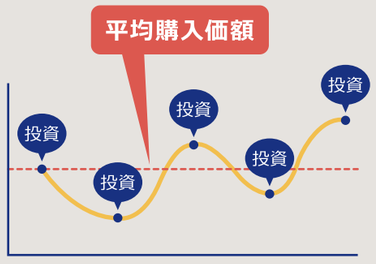
4資産に均等に投資した長期保有の効果*1



（2003年3月～2024年9月）

②積立投資

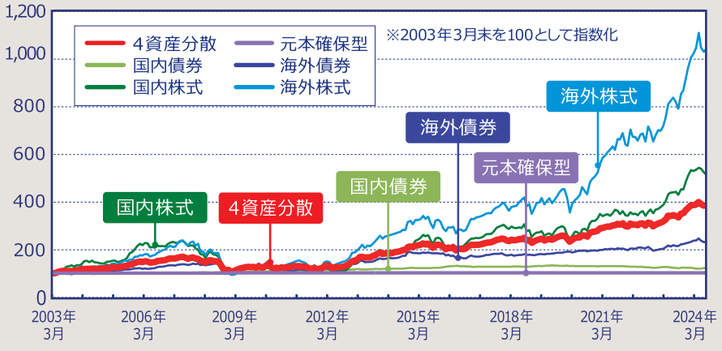
投資のタイミングが分散され、購入価額を平準化できます



③分散投資

値動きの特徴が異なる商品を組み合わせることで価格の動きのブレ幅を抑えることができます

資産分散の効果*2



➡分散投資の方法

1 投資先の資産が異なる**複数の投資信託を組み合わせる**

2 １つの投資信託の中であらかじめ複数の資産に分散投資されている**「バランス型」の投資信託を利用する**

iDeCoでは自然に実践しやすいです

「分散投資」はご自身で意識して行うことが大切です

Point

イオン銀行 iDeCoなら、

資産運用ロボアドバイザー
SMART FOLIO＜DC＞で分散投資もカンタンです！

QRを読み取って今すぐアクセス！

※みずほ銀行が提供するサービスです

＊1 Bloomberg、日本銀行等のデータを基に、みずほ銀行作成。＊2 Bloomberg、日本銀行等のデータを基に、みずほリサーチ＆テクノロジーズ作成。
＜＊1・＊2で使用している指数について＞【国内債券】NOMURA-BPI（総合）【国内株式】配当込みTOPIX【海外債券】FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）【海外株式】MSCIコクサイ・インデックス（税引前配当金込み、円ベース）
【元本確保型】「みずほDC 定期預金（1年）」金利を基に算出【4資産分散】国内債券・国内株式・海外債券・海外株式へ25%ずつ投資を行い、毎月末にリバランスを行ったものとして算出。
※ いずれも運用にかかる手数料・税金等は考慮しておりません。また、上記は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません。
※ 運用等のシミュレーションにあたり、税金や手数料等は考慮しておりません。また、資料内で使用している図はイメージ図であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

イオン銀行

＜iDeCoに関するご留意事項＞iDeCoは原則、60 歳まで途中の引き出し、脱退はできません。運用商品はご自身でご選択いただきます。運用の結果によっては損失が生じる可能性があります。加入から受け取りが終了するまでの間、所定の手数料がかかります。
イオン銀行 iDeCoは、みずほ銀行の委託によりイオン銀行が取扱う個人型確定拠出年金プランです。

（2024 年 12 月 2 日現在）

イオン銀行 iDeCo　運用商品一覧

イオン銀行 iDeCoでは、以下の運用商品ラインアップの中から商品を選択することができます。
各商品の内容については、商品概要説明資料をご覧ください。
商品選択の最終判断は、お客さまご自身の責任において行ってください。

※1 運用スタイル ‥‥ 【パッシブ運用】投資対象の平均的な値動きと同様の運用成果を目指す投資手法です（例えば国内株式に投資するパッシブ運用の投資信託であれば、『日経平均株価』や『東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）』に連動した運用成果を目指すものがあります）。
【アクティブ運用】投資対象の平均的な値動きを上回る運用成果を目指す投資手法です（例えば国内株式に投資するアクティブ運用の投資信託であれば、『東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）』などを目標（ベンチマークといいます）として、その目標を上回る運用成果を目指します。ただし常に上回るわけではなく、下回る場合もあります）。

※2 バランス ‥‥‥‥ 債券・株式等複数の資産に分散して投資している投資信託です。それぞれの資産への投資比率（アセットアロケーションといいます）は、商品種類ごとに異なります。

※3 信託報酬 ‥‥‥‥ 皆さまの運用資産を集めた総資産から投資信託委託会社・受託会社・販売会社に支払われる手数料です。

※4 信託財産留保額 ‥ 投資信託の解約時等に控除される金額です。

2024年12月2日現在
商品選定：みずほ銀行（運営管理機関）

●元本確保型商品以外の商品

商品種類	主要投資対象	運用スタイル※1	商品番号	商品名 略称	商品名	運用会社	商品の選定理由
投資信託	バランス※2	パッシブ	001	野村マイバランス30DC	マイバランス３０（確定拠出年金向け）	野村アセットマネジメント	主な投資対象を国内外の株式・債券とし、各資産のベンチマークを合算した合成ベンチマークに連動する投資成果をめざすファンド。あらかじめ定められた各資産への基本資産配分比率は原則として維持されており、自分のリスク許容度等に応じて選択できるライフサイクルファンドとして選定。原則として外貨建資産には、為替ヘッジは行わない。
			002	野村マイバランス50DC	マイバランス５０（確定拠出年金向け）		
			003	野村マイバランス70DC	マイバランス７０（確定拠出年金向け）		
			018	Ｏｎｅたわらバランス８資産均等	たわらノーロード バランス（８資産均等型）	アセットマネジメントOne	主な投資対象を国内外の債券・株式・リートおよび新興国の債券・株式とし、各資産の運用では各資産のインデックスに連動する投資成果をめざすファンド。各資産への基本資産配分比率は原則として均等に維持される。国内外の債券・株式・リートおよび新興国の債券・株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。原則として外貨建資産には為替ヘッジは行わない。
		アクティブ	004	三井住友イオンバランス戦略	イオン・バランス戦略ファンド（愛称：みらいパレット）	三井住友ＤＳアセットマネジメント	主な投資対象を新興国を含む国内外の債券・株式・リートとし、原則として現預金・国内債券および為替ヘッジ付き先進国債券からなる安全資産への配分比率を60%程度以上、新興国を含む国内外の株式・リート、および外国債券からなるリスク資産への配分比率を40%程度以下の範囲で調整しつつ安定した収益の確保をめざすファンド。積極的に国内外の債券・株式・リートのリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。
			019	AMOneソムリエTY2035	投資のソムリエ（ターゲット・イヤー2035）	アセットマネジメントOne	主な投資対象を国内外の債券・株式・リートおよび新興国の債券・株式とし、投資環境の変化に応じてそれぞれの配分比率を適宜変更することにより、基準価額の変動リスクを一定水準に抑えつつ、運用期間の経過とともに目標変動リスクを徐々に低減させるターゲット・イヤー型運用を行うファンド。投資環境の変化と運用期間の経過に応じたリスクコントロールを行いつつ、安定的な収益の確保をめざすライフサイクルファンドとして選定。外貨建資産には、投資環境に応じて弾力的に為替ヘッジを行うことがある。
			020	AMOneソムリエTY2045	投資のソムリエ（ターゲット・イヤー2045）		
			021	AMOneソムリエTY2055	投資のソムリエ（ターゲット・イヤー2055）		
			025	AMOneソムリエTY2065	投資のソムリエ（ターゲット・イヤー2065）		
	国内債券	パッシブ	005	Ｏｎｅたわら国内債券	たわらノーロード　国内債券	アセットマネジメントOne	主な投資対象を国内の債券とし、ベンチマークであるＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合インデックスに連動する投資成果をめざすファンド。国内債券のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。
	国内株式	パッシブ	006	OneDC国内株式インデックス	One DC 国内株式インデックスファンド	アセットマネジメントOne	主な投資対象を国内の株式とし、ベンチマークであるＴＯＰＩＸ（東証株価指数、配当込み）に連動する投資成果をめざすファンド。国内株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。
		アクティブ	007	レオスひふみ年金	ひふみ年金	レオス・キャピタルワークス	主な投資対象を国内の株式とし（※）、定性・定量の両方面からの調査・分析により、長期的な将来価値に対して現在の市場価値が割安と考えられる銘柄の選定・投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目標として運用するファンド。参考指数はＴＯＰＩＸ（東証株価指数、配当込み）。積極的に国内株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。（※ただし投資環境に応じて外国株式にも投資することがある。）
			008	フィデリティ・日本成長株	フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信	主な投資対象を国内の株式とし、ボトム・アップアプローチを重視した個別企業分析により利益成長が見込まれる企業を選別し、ベンチマークであるＴＯＰＩＸ（東証株価指数、配当込み）を中長期的に上回る投資成果をめざすファンド。積極的に国内株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定。
	海外債券	パッシブ	009	Ｏｎｅたわら先進国債券	たわらノーロード　先進国債券	アセットマネジメントOne	主な投資対象を日本を除く海外の債券とし、ベンチマークであるＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果をめざすファンド。海外債券のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定（原則として為替ヘッジなし）。
			010	Oneたわら先進国債券ヘッジ有	たわらノーロード　先進国債券<為替ヘッジあり>		主な投資対象を日本を除く海外の債券とし、ベンチマークであるＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）に連動する投資成果をめざすファンド。海外債券のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定（原則として為替ヘッジあり）。
			011	三菱ＵＦＪＤＣ新興国債券	三菱ＵＦＪ ＤＣ新興国債券インデックスファンド	三菱ＵＦＪアセットマネジメント	主な投資対象を新興国の債券とし、ベンチマークである ＪＰモルガンガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイド（円換算ベース）に連動する投資成果をめざすファンド。海外債券のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定（原則として為替ヘッジなし）。
	海外株式	パッシブ	012	Ｏｎｅたわら先進国株式	たわらノーロード　先進国株式	アセットマネジメントOne	主な投資対象を日本を除く海外の株式とし、ベンチマークであるＭＳＣＩ　ＫＯＫＵＳＡＩインデックス（円換算ベース、配当込み）に連動する投資成果をめざすファンド。海外株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定（原則として為替ヘッジなし）。
			013	DIAM新興国株式インデックス	ＤＩＡＭ新興国株式インデックスファンド<ＤＣ年金>		主な投資対象を新興国の株式とし、ベンチマークである ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざすファンド。海外株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定（原則として為替ヘッジなし）。
		アクティブ	014	ピクテ･G･インカム株式DC	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンドDC（愛称 グロインDC）	ピクテ・ジャパン	主な投資対象を日本を含む世界各国の高配当利回りの公益株式とし、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざすファンド。積極的に国内外株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定（原則として為替ヘッジなし）。
			022	フィデリティ・米国優良株	フィデリティ・米国優良株・ファンド	フィデリティ投信	主な投資対象を米国の株式とし、個別企業分析により、国際的な優良企業や将来の優良企業に投資を行い、ベンチマークであるＳ＆Ｐ５００（税引前配当金込／円ベース）を中長期的に上回る投資成果をめざすファンド。積極的に米国株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定（原則として為替ヘッジなし）。
			023	フィデリティ・欧州株	フィデリティ・欧州株・ファンド		主な投資対象を欧州の株式とし、個別企業分析により、優良企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行い、ベンチマークであるＭＳＣＩ ヨーロッパ・インデックス（税引前配当金込／円ベース）を中長期的に上回る投資成果をめざすファンド。積極的に欧州株式のリスクをとりつつ投資資金の増加を図る商品として選定（原則として為替ヘッジなし）。
	国内不動産投信	パッシブ	015	Ｏｎｅたわら国内リート	たわらノーロード　国内リート	アセットマネジメントOne	主な投資対象を国内の金融商品取引所に上場している不動産投資信託証券とし、ベンチマークである東証ＲＥＩＴ指数（配当込み）に連動する投資成果をめざすファンド。国内不動産投資信託証券のリスクをとって運用資産の増加を図る商品として選定。
	海外不動産投信	パッシブ	016	Ｏｎｅたわら先進国リート	たわらノーロード　先進国リート	アセットマネジメントOne	主な投資対象を日本を除く世界各国の不動産投資信託証券とし、ベンチマークであるＳ＆Ｐ 先進国 ＲＥＩＴインデックス（除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざすファンド。外国不動産投資信託証券のリスクをとって運用資産の増加を図る商品として選定。
	海外純金上場投信	パッシブ	024	ブラックロックゴールドIDX	iシェアーズ　ゴールドインデックス・ファンド（為替ヘッジなし）	ブラックロック・ジャパン	主な投資対象を海外の純金上場投資信託証券とし、ベンチマークであるＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）に連動する運用成果をめざすファンド。純金上場投資信託証券のリスクをとって運用資産の増加を図る商品として選定（原則として為替ヘッジなし）。※ＬＢＭＡ金価格は、ICE Benchmark Administration Limitedによってロンドン時間の午後に公表される金現物価格

●元本確保型商品

商品種類	商品番号	商品名 略称	商品名	運用会社	商品の選定理由
定期預金	017	イオンｉＤｅＣｏ定期預金5年	イオン銀行ｉＤｅＣｏ定期預金　５年	イオン銀行	満期に応じてあらかじめ定められた利息収益が得られる元本確保型商品として選定。

お問い合わせ
イオン銀行 iDeCo
確定拠出年金コールセンター 0120-081-600
※フリーダイヤルをご利用いただけない場合（通話料有料）045-949-6345
オペレーターサービス利用時間帯 月曜日～金曜日 9:00～21:00／土・日曜日9:00～17:00（12月31日～1月3日、祝日‥振替休日、ゴールデンウィークの一部の日およびメンテナンスの日はご利用いただけません）

※本資料は基準日時点における運用商品情報を記載しています。

委託運営先 確定拠出年金サービス㈱（みずほ銀行より委託）